

公開シンポジウム

気象災害の軽減を目指した リモートセンシング技術の利用



参加費無料

日時：平成 24 年 1 月 18 日 (水) 13:00 ~ 16:30

場所：大阪商工会議所 国際会議ホール 大阪市中央区本町橋 2 番 8 号

主催：次世代安心・安全 ICT フォーラム、(独)情報通信研究機構

後援：総務省近畿総合通信局、近畿情報通信協議会

プログラム

- 13:00 ~ 13:05 野津正明 (総務省近畿総合通信局長) 挨拶
- 13:05 ~ 13:35 中北英一 (京都大学防災研究所) ゲリラ豪雨と国土交通省 MP レーダ
- 13:35 ~ 13:50 小山芳太 (大阪管区气象台) 2011 年 8 月 27 日の大阪府の大雨
- 13:50 ~ 14:05 石原正仁 (高層气象台) 現行の気象レーダ観測の限界と新型レーダへの期待
- 14:05 ~ 14:20 水谷文彦 (株東芝) フェーズドアレイ気象レーダの研究開発
- 14:20 ~ 14:35 牛尾知雄 (大阪大学) フェーズドアレイレーダ開発の背景と検証実験
- 14:35 ~ 14:50 浦塚清峰 (独)情報通信研究機構) 航空機搭載合成開口レーダによる災害地の観測
- 14:50 ~ 15:05 安井元昭 (独)情報通信研究機構) ドップラーライダーによる新しい気象観測
- 15:05 ~ 15:20 休憩
- 15:20 ~ 16:30 パネルディスカッション
コーディネータ：津田敏隆 (京都大学生存圏研究所)
パネリスト：国土交通省近畿地方整備局、近畿地方の自治体等 (予定)

お申し込み：

<http://ictfss.nict.go.jp/osaka2012/>

お問い合わせ：次世代安心・安全 ICT フォーラム事務局 Tel：042-327-6696 e-mail：ictfss@ml.nict.go.jp